

授業改善のヒント 小学5年 社会

1 県全体の状況

(1) 正答率60%以上の問題の割合 74.1% (平成17年度 89.3%)

問題数	正答率60%以上		正答率40%以上60%未満		正答率40%未満	
27問中	20問	74.1%	7問	25.9%	0問	0.0%

(2) 観点別正答率

No	観点別正答率	正答率
1	社会的な思考・判断	68.2%
2	観察・資料活用 of 技能・表現	68.0%
3	社会的な事象についての知識・理解	74.3%

(3) 問題内容別正答率

No	問題内容別正答率	正答率	No	問題内容別正答率	正答率
1	消ぼうしよの仕事と消ぼうせつび	61.1%	5	地形図を読み取る	50.9%
2	交通安全	72.2%	6	日本の米づくりのくふうや努力	74.5%
3	昔の暮らし	90.9%	7	日本の農業の様子	68.8%
4	学校のまわりの地図を読み取る	71.5%			

2 定着が良好な領域や単元等

(1) 「昔の暮らし」で使われていた道具(かまど、洗濯板)を見て、その道具が何に使われたものの理解をみる問題について、96.6%、95.7%と2問とも正答率が高い。[8] [9]

(2) 「我が国の農業」では、米づくりがさかんなことを説明する資料を選択する問題で84.1%、現在の米づくりを取り巻く状況を読み取る資料を選択する問題で86.7%と正答率が高い。[18] [21]

3 指導法の工夫改善が必要な領域や単元等

(1) 思考・判断

① 消防施設や設備の設置の状況について、その目的をもとに正しく考察する問題の正答率が45.6%である。[1]

② 等高線によって表される土地の高低を、考察する問題の正答率が50.5%である。[16]

③ 資料から交通の安全を守るための設備の工夫について、考察する問題の正答率が51.9%である。[6]

(2) 資料活用

① 地図上である地点の等高線の高さを読み取る問題の正答率が42.4%である。[15]

② 都道府県の米の生産量の地図を見て、米の生産量が設問の条件に一致する県を指摘する問題の正答率が43.5%である。[27]

(3) 知識・理解

① 消防署の地図記号の理解をみる問題の正答率が58.8%である。[13]

② 年間を通じた米づくりの様子と、その時期の農作業の理解をみる問題の正答率が62.4%、64.8%である。[19] [20]

1 調べる活動（思考・判断）	「調べた」ことから「考える」活動も大切にしましょう。
-----------------------	----------------------------

1 問題の概要

1	(1) 消防施設や設備の設置状況について、その目的をもとに正しく考察する。	正答率 45.6%
2	(3) 交通安全を守るための設備の工夫について考察する。	正答率 51.9%

2 正答率が低い要因

- (1) 地域で「調べる活動」が、子どもの目的意識に支えられた学習活動となっていないためと考えられます。
- (2) 社会的事象の意味について「考える」学習が十分には行われていないためと考えられます。

3 指導法改善のヒント

(1) 地域で「調べる活動」のポイント

- ① まず、教師自身が、子どもの疑問や問題意識から作られた学習課題、その課題解決のために「調べる活動」をするという「調べる活動」の意義を確認しましょう。
- ② 次に、「調べる活動」に出かける時には、子ども一人一人に「なぜ、それを調べるのか」「何を調べて、何を明らかにしようとしているのか」といった「目的」や「動機」、そして、その見学・調査の仕方を確認しましょう。

【「目的」の明確化】

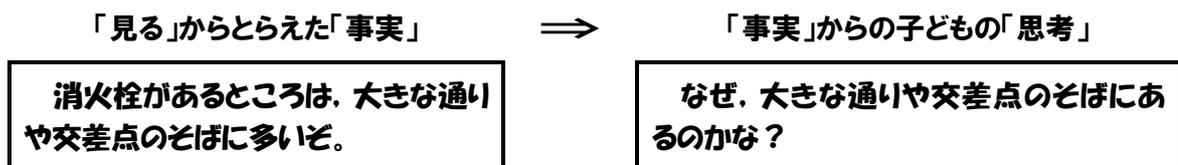
- ・課題解決への関心・意欲を高めるために行うのか。
- ・自分の予想や仮説の検証をさせるために行うのか。
- ・学習をさらに広げたり、深めたり、新たな課題を発見させたりするために行うのか。

【見学・調査の仕方の明確化】

- ・「何のために」「何を」「どのように」調べてくるのかを明確にしましょう。

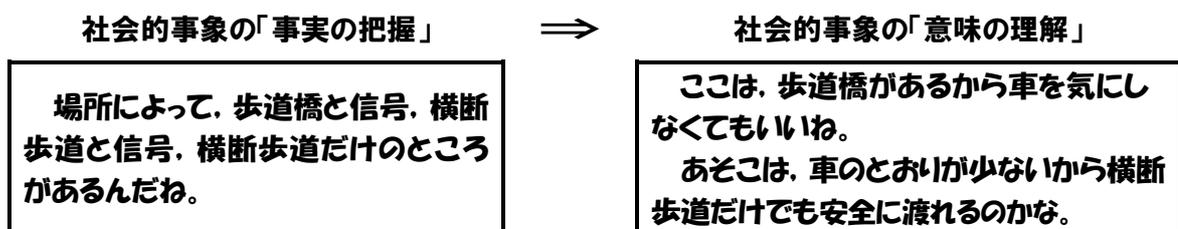
- ③ 「調べる活動」の後に、調べた事実に基づいて子どもが自分の意見や考えを述べ合い、互いの見方や考え方を交わし合う活動を指導計画に位置付けましょう。

【「見た」「聞いた」ことから「考える」活動】



(2) 「事実の把握」から「意味の理解」へ

「調べる活動」が、「事実の把握」に止まってはいませんか。調べた「事実」を、模造紙等に「まとめ」「発表」するだけでは、自分で「考え」「判断する」力は付きません。



- ① 日頃から自分の生活とのかかわりで考えたり、事実に基づき根拠を明確にして発言したりできるようにしておきましょう。
- ② 複数の事象を比較して共通点や相互の関連を考えるような指導をしましょう。
- ③ 一つの事象をいくつかの面から多面的に考えるような指導も大切にしましょう。

2 地図の読み取り① (思考判断・資料活用)	断面図を作成させるなどの具体的な作業を通して、等高線の意味をつかませましょう。
---	---

1 問題の概要

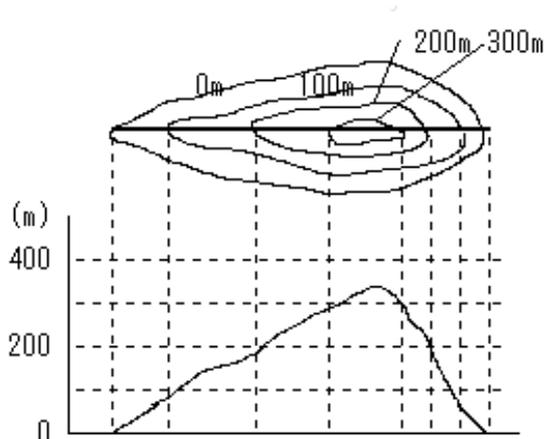
5	(1) 地図上である地点の等高線の高さを読み取る。	正答率 42.4%
5	(2) 等高線によって表される土地の高低を考察する。	正答率 50.5%
5	(3) 等高線によって表される土地の傾きを考察する。	正答率 59.9%

2 正答率が低い要因

- (1) 等高線の表す意味が十分理解できていないためと考えられます。
- (2) 地図上の等高線の様子から、実際の地形の様子（土地の高低や起伏など）を具体的にイメージさせるような指導の工夫が行われていないと思われます。

3 指導法改善のヒント

- (1) 模式図を使って、等高線とその間隔が意味することを具体的に理解させましょう。
 - ・ 同じ等高線上は同じ高さである。
 - ・ 等高線の間隔が広い。→傾斜がゆるやかである。
 - ・ 等高線の間隔が狭い。→傾斜が急である。
- (2) 模式図上の直線の断面図を、等高線をもとに作成させ、高さや傾斜を比べさせましょう。
- (3) 実際の地図上のいくつかのポイント（地点）の高さを、等高線をもとに求めさせたり、2地点間の傾斜を比べさせたりしましょう。
- (4) 実際の地図上のいくつかの直線の断面図を、等高線をもとに作成させましょう。



3 地図の読み取り② (知識・理解)	形の意味や成り立ちに興味を持たせながら、基本的な地図記号を覚えさせましょう。
-------------------------------------	--

1 問題の概要

4	(4) 消防署の地図記号の理解をみる問題	正答率 58.8%
4	(2) 地図記号から、学校のまわりの土地利用を読み取る問題	正答率 63.9%

2 正答率が低い要因

地図記号を機械的に覚えるだけの学習になっているので、基本的な地図記号の理解が十分でないと考えられます。

3 指導法改善のヒント

- (1) 地図記号はそれぞれが表している施設や建物、土地利用の様子から図案化されているということに気付かせながら、その意味をよく理解させて覚えさせましょう。
- (2) 基本的な地図記号の由来を示しながら、新しい地図記号を作らせてみましょう。

消防署	工場	神社	学校	果樹園	畑
火消しの道具	機械の歯車	鳥居の形	「文」の文字	果物の形	ふた葉の形

4 米づくり 体験と学習の統合を促す工夫を行い、体験的な学習を体系化しましょう。

1 問題の概要

6	(2) 年間を通じた米づくりの様子とその時期の農作業を理解している。 ア 苗作り ウ 消毒	ア 正答率 62.4% ウ 正答率 64.8%
---	---	----------------------------

2 正答率が低い要因

- (1) 「米づくり」にかかわる農作業が、子どもの身近な社会的事象ではなくなっているためと考えられます。
- (2) 一連の農作業を体系的に学ぶ学習活動になっていないためと考えられます。

3 指導法改善のヒント

- (1) 米づくり体験（「田植え」「稲刈り」等）での手だて
米づくりに関する体験活動が、「『田植え』と『稲刈り』そして『収穫祭』をして終わり」になっていませんか。
 - ① 種籾を塩水に浸しての種の選別作業、苗床への種まき、除草作業などの作業体験も可能な限り、取り入れていきましょう。
 - ② 例えば「米づくり歳時記」を作成させるなどの活動も行っていきましょう。「米づくり歳時記」を教室に掲示し、体験前にその作業がどこに当たるのかを確認しておくことも大切です。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		土作り <input type="checkbox"/> 種選び	水かけ 田おこし <input type="checkbox"/> 田植え		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		稲刈り	<input type="checkbox"/>	

(2) 本物の知識—生活の知恵を学ぶ体験的な学習を通して身に付いた知識は、本物です。

- ① 社会的事象の様子や特色、働き、役割などの概念、意味、傾向などを「知識」としてとらえられるようにしましょう。
- ② 「知識」を生活の知恵として理解させていきましょう。
- ③ 「知識」をその後の自分の生活や学習の中で生かすことができるようにしていきましょう。

どうして種籾を選ぶときには、塩水に浸しておくのだろうか？

5 都道府県の位置と名称 (知識・理解) 地図帳や白地図を活用して、都道府県の位置と名称を覚えさせましょう。

1 問題の概要

8	(4) 都道府県の米の生産量の地図を見て、米の生産量が設問の条件に一致する県を指摘する。	正答率 43.5%
---	--	-----------

2 正答率が低い要因

米の生産量とは関係なく、各都道府県の位置と名称が理解されていないと考えられます。

3 指導法改善のヒント

- (1) 農業・水産業・工業の学習を進める中で、「〇〇のさかんな都道府県」などの主題図を地図帳等の資料を参考にして作成させて、各都道府県の特色や位置を印象付けましょう。
- (2) 白地図と地図帳を用いて、各都道府県の位置と名称を繰り返し確認させましょう。
(地方別に段階的に行い、家庭学習にも取り入れて定着を図りましょう。)
- (3) 都道府県のジグソーパズルや都道府県名当てクイズなどを作成して、楽しみながら都道府県を覚えていくようにさせましょう。

平成18年度宮城県学習状況調査 小学校5年 社会

No	問題番号	領域	問題の内容	出題のねらい
1	(1)	①地域の 人々の安全な 生活	①消ぼうしよの 仕事と消ぼうせ つび	消防施設や設備の設置の状況について、その目的をもとに正しく考察することができる。
2	(2)			火事の現場に早く到着するための消防士の工夫を考察することができる。
3	(3)			火事が起きたときの連絡や協力のしぐみを理解している。
4	(1)	②交通安全	②交通安全	資料から交通事故が起きた時の警察の仕事の内容を読み取ることができる。
5	(2)			交通事故が起きないために行っている警察の活動を理解している。
6	(3)			資料から交通の安全を守るための設備の工夫について考察することができる。
7	(1)	②地域のくらしの 移り変わり	③昔のくらし	昔のくらしの調査について、どのように調べたらよいか考察することができる。
8	(2)			昔のくらしで使われていた道具の用途を理解している。
9	(3)			時代の異なる同じ用途の道具の使用のしかたを理解している。
10	(1)	③地域の地形・ 土地利用	④学校のまわりの 地図を読み取る	設問と地図を見比べながら、方位と地図記号を正しく把握できる。
11	(2)			地図を見て、学校の周りの土地の使い方を読み取ることができる。
12	(3)			設問に示されたルートを地図上で正しく読み取ることができる。
13	(4)			消防署の地図記号を理解している。
14	(5)			地図に表されていることを正しく読み取ることができる。
15	(1)	⑤地形図を読み 取る	⑤地形図を読み 取る	地図上である地点の等高線の高さを読み取ることができる。
16	(2)			等高線によって表される土地の高低を、考察することができる。
17	(3)			等高線によって表される土地の傾きを、考察することができる。
18	(1)	④我が国の 農業	⑥日本の米づく りのくふうや努 力	米の生産がさかんな地域を調べるために必要な資料の集め方を、考察することができる。
19	(2)			年間を通じた米づくりの様子と、その時期の農作業を理解している。
20	(2)			年間を通じた米づくりの様子と、その時期の農作業を理解している。
21	(3)			現在の米づくりをとりまく状況について読み取ることができる。
22	(1)	④我が国の 農業	⑦日本の農業の 様子	グラフから、年ごとの米の収かく量の違いを比較して読み取ることができる。
23	(2)			6月から9月にかけての気温が米の収穫量に影響していることを考察することができる。
24	(1)	⑦日本の農業の 様子	⑦日本の農業の 様子	資料から米の消費量の特徴を読み取ることができる。
25	(2)			資料から米の消費量の変化の特徴を正しく読み取ることができる。
26	(3)			都道府県の米の生産量の地図を見て、その特色を正しく指摘することができる。
27	(4)			都道府県の米の生産量の地図を見て、米の生産量が設問の条件に一致する県を指摘することができる。

平成18年度宮城県学習状況調査 小学校5年 社会

No	期待正答率	4県正答率	県正答率	誤答率	無答率	市町村別正答率分布	主な観点	正答
1	80	47.0	45.6	54.1	0.3	36.8 ~ 63.5	思考判断	2
2	70	76.8	75.7	24.1	0.2	54.7 ~ 81.4	思考判断	4
3	70	59.9	62.0	34.8	3.2	46.7 ~ 84.0	知識理解	けいさつしよ(けいさつ)
4	80	86.8	88.5	11.2	0.4	80.0 ~ 92.6	知識理解	ア 4 イ 1(この順番で完答)
5	80	76.5	76.4	23.3	0.3	60.0 ~ 82.3	知識理解	3
6	60	35.3	51.9	43.7	4.4	26.7 ~ 70.0	思考判断	歩道橋によって、人と車の通り道を分けて、人が安全に通りをわたれるようにしている。
7	70	78.9	80.6	19.1	0.3	66.7 ~ 90.0	思考判断	4
8	80	95.9	96.6	3.3	0.1	90.0 ~ 98.9	知識理解	2
9	70	95.3	95.7	4.1	0.3	89.3 ~ 98.1	知識理解	ア 1 イ 3(この順番で完答)
10	70	69.5	69.7	29.3	1.0	54.1 ~ 80.0	資料活用	4
11	70	63.8	63.9	35.6	0.5	50.9 ~ 90.0	資料活用	1
12	70	76.0	77.0	19.7	3.3	63.8 ~ 88.3	資料活用	③または3
13	70	56.8	58.8	40.5	0.7	37.2 ~ 80.0	知識理解	2
14	70	86.4	88.1	10.8	1.1	70.0 ~ 96.8	資料活用	3
15	70	42.6	42.4	55.1	2.5	26.7 ~ 72.3	資料活用	300(m)
16	70	50.4	50.5	47.6	1.9	33.7 ~ 70.0	思考判断	2
17	70	60.0	59.9	38.5	1.7	39.0 ~ 73.8	思考判断	③または3
18	70	82.9	84.1	15.5	0.4	68.0 ~ 88.5	思考判断	3
19	70	61.8	62.4	36.4	1.2	47.5 ~ 82.8	知識理解	3
20	70	64.0	64.8	33.7	1.4	54.7 ~ 80.0	知識理解	4
21	70	85.3	86.7	12.6	0.6	72.9 ~ 92.1	資料活用	2
22	70	74.6	76.3	22.5	1.2	62.4 ~ 82.3	資料活用	1
23	60	62.8	70.9	20.7	8.4	50.0 ~ 85.1	思考判断	(6月から9月にかけての)気温が低いから。
24	70	67.4	69.5	28.5	2.0	30.0 ~ 79.8	資料活用	2004(年)
25	70	71.0	72.3	26.2	1.4	60.0 ~ 77.5	資料活用	1
26	70	79.4	80.5	17.5	1.9	60.0 ~ 85.5	資料活用	4
27	70	46.1	43.5	44.4	12.1	20.4 ~ 64.1	資料活用	富山県(富山)または埼玉県(埼玉)または長野県(長野)(ひらがな・漢字ひらがな混じりも可)